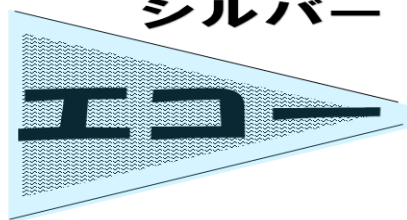


シルバー



第262号 平成25年9月10日  
公益社団法人 三田市シルバー人材センター  
〒669-1323  
三田市あかしあ台5-32-2  
電話 564-7501  
FAX 553-1300  
Eメール [sandasilver631015@sandasc.org](mailto:sandasilver631015@sandasc.org)  
ホームページ <http://www.sandasc.org/>

Eメールとホームページのアドレスが変わりました。旧アドレスは、来年の3月まで使えますが、ぜひ登録の変更をお願いいたします。

## 本年度第2回目の理事会が8/8に開催されました

報告事項として、各部会（総務財政・業務・福利厚生）からありましたが、既に先月号で記載の為、省き主要な事項を記載します。

### <報告事項>

- 6月末の契約実績は約1億6百万円で、前年度より約5百万円少ないです。  
適正就業推進による直接契約・民間企業の規模縮小・駐輪場規模縮小等が影響しています。
- 中期計画策定委員会発足  
5年後の当センターのあるべき姿を年内にまとめる為、毎月1回のペースで協議を重ねていきます。  
委員長：大場 理事 副委員長：眞野 理事  
「組織・財政」「就業開拓」「適正就業」「安全対策」等、総合的に検討します。

### <協議事項>

- 事務費規定改定理事会で承認  
事務費の50%迄、公益目的事業以外に使用できるようになります。（従来は12%迄でした）  
これは公益目的事業の使用割合を大幅（88%→50%）に減らし、黒字解消の対策とします。
- 刈払機取扱い作業安全衛生教育受講  
動力式刈払機を用いた作業は、労働安全衛生法施行令で特別教育を要すると規定されています。  
除草班で就業する会員全員が該当しますが、受講料9,000円/1人の負担について、県内他シルバーにも取り扱いを調査し、至急まとめます。
- これを機に他職種の資格取得や受講等についても費用の取り扱いを検討し、まとめます。
- 緊急時の連絡体制  
就業時・事故時・災害時等の緊急連絡網整備の為、理事長・理事の名簿に通常電話番号と携帯電話番号を載せて、理事・事務局間の連絡網を整備します。  
更に休日・夜間は就業会員と事務局担当者の連絡網を整備します。  
地域班班長は緊急事態が発生すれば休日・夜間を問わず担当理事に一報下さい。

## 当センターの歴史（第1章 昭和63～平成5年）

### 昭和63年（1988年）

#### 屋敷町にシルバー人材センター開設（S63/10）

職員2～3名 会員数115名で 商工会・老人会等の意見を聞き、他シルバーの事業を参考にして発足しました。

この時期の三田市はニュータウンの建設が進み、人口増加が顕著で4万3千人を超え始め、人口増加率日本一を記録し、更に念願だった青野ダムが完成した年でした。

### 平成元年（1989年）

#### しめ縄作業所竣工（H元年/9）

センター発足時から本事業は盛況で、センター開設後1年弱で作業所が完成しました。

三田市民の家庭では、新年を迎えるには、「しめ縄飾り」が大変重要視されていて、玄関・裏戸はもちろん納屋・農機具・車等にも飾られていました。地域班が各家庭に配達していたことも重宝されていました。一方その技術が高く評価され、一時は京都の伏見稻荷神社のしめ縄を納めました。本事業の主体は女性で100名が担当し、その売上は800万円/年でした。

#### 障子・襖張り開始 煉瓦作り開始

ニュータウンに建築された個人宅の庭作りをサポートする為。煉瓦作りを始めました。

### 平成2年（1990年）

#### 干支の置物作り開始

煉瓦作りをしている横で、市職員が干支を作っていましたので、当センターが引き継ぎ「未年」から始めました。

（紙面の都合で平成3年からは次回に掲載します）

## 高平地域班が「交通安全講習会」を開催

高平地域班ではシルバー世代特有の身体的な衰えから来る運転技術の低下を防ぐ目的で、8月28日高平ふるさと交流センターで交通安全講習会が開催されました。

農山村地域の会員は車による移動が欠かせない状況なので、受講者も20名と予想以上となり、その上、少しでも受講者を増やしたかったので、お隣の小野地域班にもお声をかけたところ、担当理事さんも班長さんも快く承知していただき、仲間の方もお誘いして7名の方々が来て下さいました。

三田警察署から来ていただいた4名の皆さんによる運転者の死角確認実習に続いて、高齢者が注意すべき運転技術などを、「きよしのズンドコ節」の替え歌とビデオ映像による講義でお話しいただき、最後には質疑応答も有り有意義な90分でした。交通ルールを守ることは勿論ですが、「身体的な衰えを自覚した運転を心がける事が大切です」とのお話で締めくくられました。

たしかにヒヤリハットの経験は、歳を重ねるごとに増えているように思います。



## 新規職員の紹介

氏名： 小森 茂明（こもり しげあき）

採用8月1日

週4日の勤務で除草作業を担当。

趣味は旅行と読書で、特に内田康夫の推理小説がお好きなようです。



## <こんな仕事あります>

- (担当小川)  
コース管理/グリーン刈 (1人/男性) 70歳迄  
6:30~9:30  
月 15日 普通免許要 視力要
- i (担当小川)  
グリーンのピッチマーク直し (1人/男性 70歳迄)  
14:00~17:30  
週 4~5日 (交代制有) 普通免許要
- (担当小川)  
清掃 13:00~16:00  
月 3~4日 (交代制有)  
1人 (男女不問)

### シルバーフェスティバルのご案内

日時: 10月5日(土) 6日(日) 10:00~16:00  
場所: デュオこうべデュオドーム (JR神戸駅地下街浜側)  
内容: 県下シルバー人材センターでの物販、演技発表、ネル展示など  
シルバー人材センターの啓発と女性会員の拡大が目標です。  
当センターのコーラスが出演する予定です。

### 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会のご案内

日時: 10月31日(木) 13:00~16:30  
場所: 神戸新聞文化情報ビル4階松方ホール  
次第: 表彰式・講演「黒田官兵衛」・事例発表他  
参加は一般市民、会員誰でも参加できます。

### 入会説明会のご案内

お知り合い、ご近所の方をお誘い下さい。  
9月26日(木) 13:30~  
10月24日(木) 13:30~

## < シルバー会員インタビュー >

ゆい 油井きよ子 さん

赤とんぼの舞う季節となりました。

この夏は例年になく厳しい暑さでした。



油井さんはH22年に会員になり、H23年4月から毎月第1月曜日に開かれている折り紙教室に興味をもたれて、参加されました。

それ以来折り紙のとりこになられて、H25年7月1日に折り紙講師認定書の資格を取られました。なんと教室に入られて2年2ヶ月の快挙です。彼女は「皆さんは色々参加されるけれど私は折り紙一筋、家でも暇があれば折っている」とおっしゃっていました。そして折り紙講師認定書の資格は



60種類近くの折紙を日本折紙協会に送って審査を受けるそうです。

老人会や市民センターまつり等で機会があれば指導されるそうです。とてもやさしい雰囲気のある方でした。今回を持ちまして、会員インタビューは休会とします。長い間皆様のご愛読ありがとうございます。御座いました。

(O記)

## 新入会員紹介 (順不同・敬称略)

今回は11名の方が会員登録されました。

個人情報保護のためお名前は伏せています。

### 入会説明会

9月26日 13:30

10月24日 13:30 から事務所で開きますので

お知り合い、ご近所の方をお誘い下さい。

入会ご希望の方は事前に事務所までお電話下さい。

## 9月11日からの行事予定

18日(水) 仕事の相談日  
総務財政部会

26日(木) 入会説明会

当センターでの仕事相談日は10月16日(水)と  
11月20日(水)の10時から12時です。



## ティーブレイク

## 敬老の日



今年の「敬老の日」は9月16日です。

「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」趣旨として、1965年に制定されました。

2002年までは9月15日でしたが、2003年から9月第3月曜日になりました。

三田市では、満75歳以上の方が「敬老の日の集い」に招待されます。また米寿(88歳)白寿(99歳)の方にはお祝いが贈られます。



私達はシルバー世代ですので、家族からお祝いをされる立場にありますが、まだご両親又は、どちらかの親がお元気な方もおられると思います。今回は「お祝いランキング(右上)」を調べました。

私達の寿命がいつまでであるか誰にも分かりませんが、その日までそれなりに元気でいたいものですね!

(O・A記)

## 長寿の日お祝いランキング

- 1位 ……食事会 (お店・自宅など)
  - 2位 ……感謝の言葉(手紙・カード・メール・電話等)
  - 3位 ……花・鉢植え・盆栽
  - 4位 ……旅行・ドライブ
  - 5位 ……お菓子
  - 6位 ……名産品・グルメ食品
  - 7位 ……生活用品
  - 8位以下…健康グッズ 商品券 現金 酒 服 他
- 長寿の祝いは数え年でしますが、最近は満年齢ですることも多くなってきているそうです。



次の配分金お支払日は10月10日です

項目	平成24年度	平成25年度
会員数(人)	1,038	1,047
受注件数(件)	1,549	1,480
契約金額(円)	195,626,958	190,502,476

(平成24年度・25年度8月分迄の累計)

## 伝言板

### 減災と備蓄

東南海・南海地震が30年以内に来るといいますが、個人の努力で出来る減災と備蓄について、今回考えてみたいと思います。

まず、減災から、家具の転倒防止に備えて器具を取り付ける。ガラスの破損飛散防止のため、フィルムを張る、等々、自分の住まいにあった危険防止を考える。

また、備蓄では、政府の諮問機関では今までの水、食料の備蓄を3日間から1週間に増やすよう発表がありました。東日本大震災に遭い、今、東京在住の方が、「何は無くとも水だけは確保するべきです。」といわれています。マンション住まいで狭いが、トイレに段ボールのままの水を2段重ねで置き、布をかぶせて花を飾っているそうです。

「給水車はきますが、時間が掛る。上階に運ぶのが大変、せめて水くらいは!」

皆さんも家の中を見回して、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

(Y・M記)